

『東亜』2019年12月号目次 「特集：米中“持久戦”のゆくえ」

■COMPASS

- * 「戦後アジア秩序の模索」とその後 宮城大蔵
- * 北大教授拘束、強まった対中不信感 城山英巳
- * ライバルとの距離－特許から見た技術的な近接性 木村公一郎
- * 中国での邦人拘束に直面する日本と台湾 福田円

■特集 米中“持久戦”のゆくえ

- * アメリカの中国ハイテク産業叩きが無益な理由 丸川知雄
- * 中国経済のマクロ動向 梶谷懐
- －積極的な財政政策と地方政府の制御は両立するか－

■ON THE RECORD

- * 米中貿易戦争の長期化と拡大化－中国経済への影響－ 関志雄

■ASIA STREAM

- * [中国の動向] (2019年10月－2019年11月)
一党支配の制度化を模索した「4中全会」 濱本良一
- * [台湾の動向] (2019年10月－2019年11月)
総統選挙情勢は蔡総統有利で推移 門間理良
- * [朝鮮半島の動向] (2019年10月－2019年11月)
日韓、改善を模索も険しい前途 塚本壮一

■Briefing Room

- * RCEP参加15カ国が20年署名で合意－インドは離脱表明、日本の説得不調に 伊藤努

■CHINA SCOPE

- * 方言の世界を守るために 池田巧

■チャイナ・ラビリンス〔187〕

- * 4中全会と党政機構改革 高橋博

■連載 国際秩序をめぐる米中の対立と協調〔3〕

- * 4次元で考える一帯一路－21世紀の地政学 小谷哲男

■Book Review on Asia

■New Publications on Asia

■『東亜』2019年総目次